

学士力を鍛える



先生の説明を聞く植物医科学専修の学生たち(昨年9月に竣工したばかりの小金井キャンパス東館屋上の温室にて)

法政大学報

郵便番号 102-8160
東京都千代田区富士見
2丁目17番1号
発行 法政大学
編集 総長室

第33号 主な内容

| | | |
|--|------------------------------|--|
| 今後も続く教学改革 進むキャンパス整備 2009年度入試展望 理工系学部情報教育シニアの構築 座談会「法政の『学生力』は今」 (6・7面) | (2面) (3面) (4面) (5面) | 進むFD活動 OB訪問・車いすバスケットボール 日本代表選手 前田憲造氏 付属校短信 2008法政フェア報告 活躍する体育会 (8面) (9面) (10面) (11面) (12面) |
|--|------------------------------|--|

最新情報は

<http://www.hosei.ac.jp/>

巻頭言



総長
増田嘉男

明日の法政を考える

政府は2008年7月に「教育振興基本計画」を決定した。この中の高等教育における重点項目として次の三つが掲げられている。1. キャリア教育・職業教育の推進と生涯を通じた学び直しの機会の提供の推進、2. 大学等の教育力の強化と質保証、3. 卓越した教育研究拠点の形成と大学等の国際化の推進。

そこにおいて大学における社会人の受け入れ、「学士力」の達成を目標とした厳格な成績評価システムの導入、教員の教育力の向上のための実効ある取り組み、世界の最高水準の卓越した教育研究拠点150、留学生30万人計画などが打ち出されている。

法政大学では、これらの計画に受け身で対応するのではなく、より積極的に対応すべく7月に「明日の法政を創る」審議会を立ち上げ、さまざまな問題を全学教職員が一体となって自由な討論の中で考えることを推進している。この審議会のメンバーは、大学院、各学部教授会、研究所、職員、中高教員すべてから自由に選出されている。そしてこの審議会のもとに作業部会を置き、さまざまな問題を審議してもらっている。現在発足している作業部会は、学部教育の充実化、大学院改革、付属校改革・高大連携、国際化推進、研究高度化、スポーツ文化の発展である。

「教育振興基本計画」の中心的な論点はこの中で審議されることになる。これらの取り組みの一部を紹介する。キャリア教育については、本学の取り組みは最先端を走っているといえる。2003年に全国に先駆けキャリアデザイン学部を設置し、大学1年生から職業、生き方について考えていく教育が行われている。各学部でも、低学年からさまざまなキャリア教育のカリキュラムが設置されている。さらに社会人のための再キャリア教育にも取り組んでいる。

教育力の向上に関してはFD推進センターを立ち上げこれをすすめている。FD(Faculty Development)とは「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組み」のことで、現在年2回の学生による教員評価を実施し、教員の教育力充実に役立てている。さらにこれを充実させるため、昨秋に「大学評価室」を設置し、大学の自己点検・自己評価を充実させていくことにしている。

卓越した研究拠点の形成を重点的に支援するプログラム(COE)では、本学は国際日本学での採択以降、新たな獲得への挑戦が課題である。このために研究高度化のための作業部会を立ち上げ、新たな挑戦をいかにしていくか審議してもらっている。国際化についてもより多くの外国人留学生を受け入れるための方策を模索している。

以上本学の取り組みの一端を紹介してきたが、今後とも教育と研究の充実のため全学の力を結集していく所存である。

スポーツ健康学部

4月のスタートに向けて

いよいよ2009年4月、多摩キャンパスに「スポーツ健康学部(仮称)」をスタートするべく文部科学省へ認可を申請している(08年11月末現在)。

スポーツ振興と個人の健康づくりに貢献できる人材を育成することが、この学部の最大の目的である。豊かさや利便性を求めた結果、生活様式が一変し、青少年の体力低下、勤労世代の運動不足や中高年世代の健康不安が、わが国の将来を左右する事態として認識され、スポーツと健康に対する関心が高まっている。病気を予防し健康を維持・増進するための

『健康科学』と、スポーツ指導力の向上を目的とした『スポーツ科学』は切り離せないものであり、「スポーツ」と「健康」は、現代人が抱えている問題を解決していくための重要なキーワードとなっている。また、誰もが自由にスポーツを楽しむことができる社会環境を整備していくことも重要な課題である。

本学のスポーツ健康学部(仮称)が目指すものは、単に運動技術の習得という意味の「スポーツ科学」だけではなく、科学的な視点からスポーツと健康を学び、現代人が抱える諸問題の解決に向

けた取り組みを、広く社会で実践できる人材を育てることである。

専門教育の柱は以下の3コースにより形成される。

健康増進や疾病予防への理解を深めることが大きな目的である「ヘルスデザインコース」

スポーツビジネスの視点から社会を考察し、スポーツの社会貢献を目指す「スポーツビジネスコース」

科学的指導法を分析することを学び、日本のスポーツ界を担う指導者はもとより、生涯スポーツや教育の現場において、健康増進、体力向上などの実践力のある指導者を養成する「スポーツコーチングコース」

なお、これら3コースに設置された科目は横断的に受講することができ、偏った知識とならないよう教育課程に工夫がされている。

また、本学では初めてのとなる中学・高校一種「保健体育」の教員免許取得するための教職課程を備えている。

そのほか、健康運動指導士(養成講習会免除)、アスレティックトレーナー(受験資格)など、今後ますます活躍の場が期待できる各種資格課程の認定を受ける予定である。

11月末現在、文部科学省による審議継続中であり、結果については本学ホームページに掲載予定である。

08年4月開設のGIS・グローバル教養学部。その50人という入学定員は全国でも最小規模である。しかし、これは学部に設置された科目は横断的に受講することができ、偏った知識とならないよう教育課程に工夫がされている。

また、本学では初めてのとなる中学・高校一種「保健体育」の教員免許取得するための教職課程を備えている。

そのほか、健康運動指導士(養成講習会免除)、アスレティックトレーナー(受験資格)など、今後ますます活躍の場が期待できる各種資格課程の認定を受ける予定である。

11月末現在、文部科学省による審議継続中であり、結果については本学ホームページに掲載予定である。

08年4月開設のGIS・グローバル教養学部。その50人という入学定員は全国でも最小規模である。しかし、これは学部に設置された科目は横断的に受講することができ、偏った知識とならないよう教育課程に工夫がされている。

また、本学では初めてのとなる中学・高校一種「保健体育」の教員免許取得するための教職課程を備えている。

そのほか、健康運動指導士(養成講習会免除)、アスレティックトレーナー(受験資格)など、今後ますます活躍の場が期待できる各種資格課程の認定を受ける予定である。

11月末現在、文部科学省による審議継続中であり、結果については本学ホームページに掲載予定である。

2010年度

今後続く教学改革

2010年、次のステップとして、さらなる教学改革を続ける。

学部としては、2000年に開設した現代福祉学部現代福祉学を、ウエル・ビーイングの実現という学部創設以来の教育研究理念をさらに継承・発展させるため、コミュニティ・マネジメント学科(仮称)と臨床心理学科(仮称)の二学科制に再編する。

また、大学院では1研究科、2専攻の開設を構想している。

デザイン工学研究科(仮称)は、従来の工学教育に軸足を置きながら、ほかの学問分野の知識との融合による「新しい価値を創造しデザイン

成を目指す」として総合デザイン力を養成し、より高度な研究教育を実施することを理念とする。

政治学研究科国際政治学専攻(仮称)はグローバル・ガバナンスとアジア国際政治の双方で、高度な実践的知識と英語力を身につけグローバル・リージョナルな分野で活躍できる人材を養成する。

工学研究科生命機能学専攻(仮称)が対象とする生命科学分野は、科学技術の将来の夢を託された領域であり、急速に進展する先端科学の情報を咀嚼(そしやく)し、自立した研究者・技術者として活躍しうる人材の育成を目指している。

09年4月から、大学院政策創造研究科と専門職大学院イノベーション・マネジメント専攻では、静岡市の施設を借用して、東京で行われる平日夜間の授業を遠隔会議テレビ・システムにより静岡で受講できるサテライトキャンパスを開設する。さらに授業によって、講師との対面授業も取り入れる(ただし土曜に限っては東京で受講することとなる)。これにより、2年で大学院修士課程を修了できる。

遠隔会議テレビ・システムでは、東京からの一方の授業だけでなく、静岡からも授業参加ができる双方のシステムを採用しており、遠隔にもかわらず授業効果が非常に高くなることを期待

09年4月開設のGIS・グローバル教養学部。その50人という入学定員は全国でも最小規模である。しかし、これは学部に設置された科目は横断的に受講することができ、偏った知識とならないよう教育課程に工夫がされている。

また、本学では初めてのとなる中学・高校一種「保健体育」の教員免許取得するための教職課程を備えている。

そのほか、健康運動指導士(養成講習会免除)、アスレティックトレーナー(受験資格)など、今後ますます活躍の場が期待できる各種資格課程の認定を受ける予定である。

11月末現在、文部科学省による審議継続中であり、結果については本学ホームページに掲載予定である。

09年4月開設のGIS・グローバル教養学部。その50人という入学定員は全国でも最小規模である。しかし、これは学部に設置された科目は横断的に受講することができ、偏った知識とならないよう教育課程に工夫がされている。

また、本学では初めてのとなる中学・高校一種「保健体育」の教員免許取得するための教職課程を備えている。

そのほか、健康運動指導士(養成講習会免除)、アスレティックトレーナー(受験資格)など、今後ますます活躍の場が期待できる各種資格課程の認定を受ける予定である。

11月末現在、文部科学省による審議継続中であり、結果については本学ホームページに掲載予定である。

理工学部

理工学部長 八名 和夫

理工学部長が発足して1年を迎えようとしている。教学改革の客観的な評価には、なお時間を要するが、現場では確かな手応えを得ている。全学統一で行われる英語TOEFL(R)スコアや工学部時代から継続に行っている数学・理科のブレインテスト(学力判定テスト)の結果は改善しており、質の高い学生を迎えることができたと考えている。少し専門的な表現になるが、例えばTOEFL(R)スコアでは各パースナル値が改善し、統計的に有意な分布全体このシフトが認められた。このことは合格圏にある受験者母集団の基礎学力の向上を示唆するもので

と、それ自身が楽しくわくわくする体験であるという経験をさせることが肝要である。

高学年に配当されているプロジェクト学習、インターンシップ、少人数ゼミ教育、オフィスアワーの活性化や、低学年の学生に対する高学年の成績優秀者が学習支援を行うチューター制度導入などにより、学生に高い動機づけを行って行きたいと考えている。

小金井再開発も進み9月に東館が竣工し理工学部新入生の講義はすべてこの新校舎で行われている。今後、北館(仮称)が竣工し新入生がゼミに配属する時には研究・実験室も充実したものに。一新される教育・研究環境のもと理工学部の教員も、一層の充実と発展を目指したい。

トピックス

や新聞などで大きく取り上げられた。

8月11日以降、1班6人(全4班)体制で、1班あたり1週間をかけた実習を行い、旋回・上昇・下降などの基本的なエアワーク、空港周辺の周飛行タッチアンドゴー、無線通信など飛行実習のほか、航空気象、航空管制、飛行安全などの座学、空港施設、管制塔、気象台、エアラインなどの見学も実施し、プロのパイロットとして共通に必要な事柄を学んだ。

スポーツ健康学部開設記念シンポジウムを開催。2009年4月開設予定で、現在、文部科学省に設置認可申請中のスポーツ健康学部(仮称)開設記念シンポジウムを開催した。7月26日の第1回は「スポーツがひらく無限の可能性」では、江本孟紀氏(元参議院議員)と神和住純工学部教授による基調講演が行われ、続いて「スポーツ健康学部が目指すもの」と題して、本学教員による提言、パネルディスカッションを行った。

続いて9月27日の第2回は「スポーツ文化をリードする」では、西沢邦浩氏(日経ヘルスブルーム編集長)による講演、北原京子氏による講演、女子日本代表三宅宏実さん(07年度卒)と、07年日本女子アマチュアゴルフ選手権競技で優勝した綾田紘子さん(文学部3年)に「トップアスリートへの道」についてのトークショー、「スポーツ健康学部が目指すもの」と題してパネルディスカッションを山本浩氏(NHK解説委員室解説副委員長)をコーディネーターとして行った。

高校生や関連企業の方、スポーツと健康に関心のある一般の方など、あわせて約300人の参加があり、2回のシンポジウムを通し、学部の教育プログラムや養成する人材像、学部が果たすべき役割について活発な意見交換が行われ、広く考



飛行実習開始に先立ち、8月10日に松本友作福島県副知事など来賓多数が参席し開講式が行われ、続いて教官らに代表の学生2人が最新鋭の練習機Diamond Air(R)社製(DA40型)に乗り込みデモフライトを実施。地元マスコミなども取材に訪れ、ニュース

大学院静岡サテライトキャンパスオープン

09年4月から、大学院政策創造研究科と専門職大学院イノベーション・マネジメント専攻では、静岡市の施設を借用して、東京で行われる平日夜間の授業を遠隔会議テレビ・システムにより静岡で受講できるサテライトキャンパスを開設する。さらに授業によって、講師との対面授業も取り入れる(ただし土曜に限っては東京で受講することとなる)。これにより、2年で大学院修士課程を修了できる。

遠隔会議テレビ・システムでは、東京からの一方の授業だけでなく、静岡からも授業参加ができる双方のシステムを採用しており、遠隔にもかわらず授業効果が非常に高くなることを期待

誕生した生命科学部から!

生命科学部は、その3階を占めており、12階は関連事務室、講義室、体育館となっており、最上階の5階の南面に面して温室があります。これは決して観賞用植物の温室ではなく、研究温室です。奥には

小金井キャンパスの奥野の一つであると思えます。4階は環境応用化学科で、化合物の物性とその合成を中心とする領域を背景としています。今日の領域の有機的結合が、それは現代生命科学のコアといえます。これらの領域の有機的結合が、生命科学部の特徴です。最後に、何にもまして重要なのはその中身で、生命科学部の1年生は現在200人余です。新しい酒は新しい皮袋に、新しい酒は古い皮袋を破裂させてしまうからです。破裂せんとするばかりの新入生は、なかなか積極的に頼もしい存在です。必ずや今問題とされている地球規模の諸問題に積極的に対処できる人材に育っていくことに確信を持って、生命科学部より声

生命科学部 長田 敏行

生命科学部は、その3階を占めており、12階は関連事務室、講義室、体育館となっており、最上階の5階の南面に面して温室があります。これは決して観賞用植物の温室ではなく、研究温室です。奥には

小金井キャンパスの奥野の一つであると思えます。4階は環境応用化学科で、化合物の物性とその合成を中心とする領域を背景としています。今日の領域の有機的結合が、それは現代生命科学のコアといえます。これらの領域の有機的結合が、生命科学部の特徴です。最後に、何にもまして重要なのはその中身で、生命科学部の1年生は現在200人余です。新しい酒は新しい皮袋に、新しい酒は古い皮袋を破裂させてしまうからです。破裂せんとするばかりの新入生は、なかなか積極的に頼もしい存在です。必ずや今問題とされている地球規模の諸問題に積極的に対処できる人材に育っていくことに確信を持って、生命科学部より声

進むキャンパス整備

多機能・複合施設の 東館など竣工

法政大学では、教育・研究環境の一層の拡充を図るべく、各キャンパスにおいて、さまざまな整備事業を進めている。2008年度に実施した代表的な施設整備事業について以下に紹介する。

【小金井キャンパス】
小金井再開発第2期工事
東館など竣工
2007年2月に着工した小金井再開発第2期工事が順調に進み、2007年9月に竣工した部屋棟(地上2階建て)に続き、2008年9月には地上5階地下1階建ての東館ほか竣工し、後期授業より使用を開始した。

東館は教室、ゼミ室、研究・実験室、講堂兼用体育館、食堂、マルチユースホール、植物医科学専修が使用する温室など用途の異なる施設を収容した多機能・複合施設で、延べ床面積は約2万平方メートル。住宅地に隣接するキャンパス特性も考慮した外観デザインとなっている。
低層部の地下1階から2階には大小25の教室やゼミ室のほか、講堂兼用体育館、小体育館、ワークショップ、精密測定分析室、食堂、売店、マルチユースホール、スタディルーム(自習スペース)、ロッカースペース等、多数の学生が利用する学部共用施設を配置した。このうち、地下1階の「ワークショップ」はモノづくりのためのオープンスペースで、各種工作機械、精密測定機などを配置しており、研究分野を超えたアイデア交流などの期待もかかる。
同じく地下1階の食堂は座席数521席を確保し、直上のマルチユース

ホールとは「DNA」をイメージしたらせん階段で結んだ。体育館は2階4階の3層吹抜構造で、収納式のステージと座席設備を引き出すと座席数432席の講堂となる。遠隔講義システムも完備し、キャンパス間のみならず国内外の他大学を映像と音声で結ぶことが可能な設計とした。
3階から5階の研究・実験室は二重床とシステム天井を採用し、今後の機器設置などに柔軟に対応できる設計とした。
また、3階には物理・化学・生物の共通実験室を設け、これまで多摩キャンパスで実施していた一部の授業をすべて小金井キャンパスで行えるよう配慮した。

小金井再開発第2期工事は今後も継続し、理工学部が主に使用する「北館」、事務部門や食堂を配した「管理棟」(いずれも仮称)は2010年9月の使用開始に向け、順次計画を進めている。北館・管理棟竣工後に現在の研究実験棟等を解体し、その跡地には中庭を設置する計画としている。
この中庭をどのようなものにするか、本学学生を対象にしたアイデアコンペを実施し、応募26作品の中から特選に選ばれた学生のアイデアを設計に生かす試みも行っている。

2008年度は学生ホール内に事務スペースを設置する工事とともに、ホール内の老朽化した天井やイスを更新、整備が完了した。中庭や外濠校舎内にもベンチ等を設置した。また、図書館内のガイダンスルームを拡張、利用者増に対応する工事を実施した。
ほかに、富士見坂校舎の中央監視装置や55年館冷却塔の更新工事等、既存施設の整備・更新・安全性向上のための工事を実施した。

2008年度は学生ホール内に事務スペースを設置する工事とともに、ホール内の老朽化した天井やイスを更新、整備が完了した。中庭や外濠校舎内にもベンチ等を設置した。また、図書館内のガイダンスルームを拡張、利用者増に対応する工事を実施した。
ほかに、富士見坂校舎の中央監視装置や55年館冷却塔の更新工事等、既存施設の整備・更新・安全性向上のための工事を実施した。

また、再発防止に向けた大麻の吸引現場とされ、密室性が高いとされる複数の施設について、室外からも内部を覗けるようガラス扉などに変更するよう改修工事を行うことになりました。現在、担当部署で改修工事を計画しており、何とかな年内には工事を終了し、年明けから利用可能となるよう進めております。また、再発防止に向けた啓発活動としては、セミナーや講習会を3キャンパスすべてで実施。外部の専門家講師をお招きし、薬物使用の危険性について講演をしていただきました。このようにセミナーや講習会に取り組みながら、事実関係の正確な把握に努めてきました。幸い、クラブ・サークルに所属する学生を中心に多数の参加学生があり、一定の成果は得られたものと受け止めております。

調査委員会に委ねられた事実関係把握作業に関しては、事件発覚時には当該学生たちが未成年であったため関係機関から得られる情報は極めて限られたものでした。このため調査委員会では、非常に限られた周辺情報をもとに、迅速かつ慎重に作業を進めました。この調査作業には約2カ月を要しましたが、ようやく当該学生6人を特定することができました。大府等薬物使用防止対策本部への調査結果の報告、所属学部の教授会の議を経て、それぞれ退学1人、無期停学5人の処分を決定しました。ここで当面の学生処分は一段落となりました。しかしながら、本学としては、事件の重要性、大麻の伝播力を考慮し、①事件の全容解明を行うこと②また今後の再発防止に向けた対策を講じること、この2つの目的のため大麻等薬物使用防止対策本部及び調査委員会を、当面継続させることにしています。

その他 キャンパス整備

【市ヶ谷キャンパス】

2007年度までに実施した外濠校舎、富士見坂校舎、市ヶ谷田町校舎、中庭整備などの大規模工事がそれぞれ竣工し、市ヶ谷キャンパスの整備も一つの節目を迎えている。
2008年度は学生ホール内に事務スペースを設置する工事とともに、ホール内の老朽化した天井やイスを更新、整備が完了した。中庭や外濠校舎内にもベンチ等を設置した。また、図書館内のガイダンスルームを拡張、利用者増に対応する工事を実施した。
ほかに、富士見坂校舎の中央監視装置や55年館冷却塔の更新工事等、既存施設の整備・更新・安全性向上のための工事を実施した。

また、再発防止に向けた大麻の吸引現場とされ、密室性が高いとされる複数の施設について、室外からも内部を覗けるよう改修工事を行うことになりました。現在、担当部署で改修工事を計画しており、何とかな年内には工事を終了し、年明けから利用可能となるよう進めております。また、再発防止に向けた啓発活動としては、セミナーや講習会を3キャンパスすべてで実施。外部の専門家講師をお招きし、薬物使用の危険性について講演をしていただきました。このようにセミナーや講習会に取り組みながら、事実関係の正確な把握に努めてきました。幸い、クラブ・サークルに所属する学生を中心に多数の参加学生があり、一定の成果は得られたものと受け止めております。

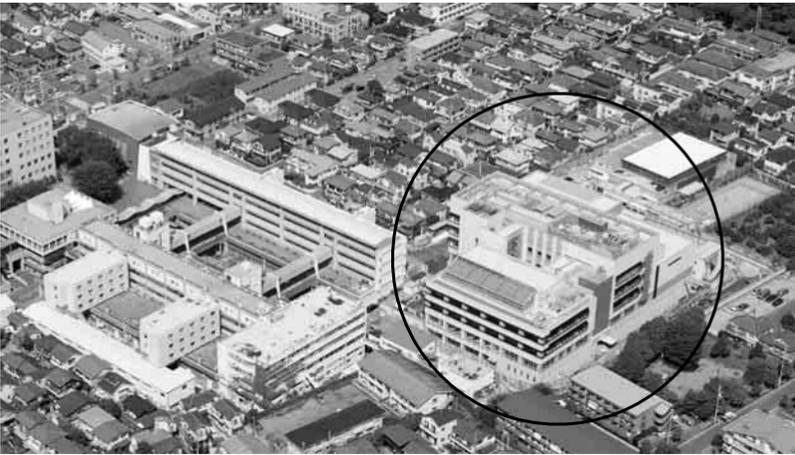
小金井キャンパス東館



講堂兼用の体育館



近隣に配慮した外観を持つ東館



小金井キャンパスの空撮写真。円内が新設された東館



デザインも優れた食堂



モノ作りのためのワークショップ



設備の整った教室

【多摩キャンパス】
2008年度より多摩長期修繕計画に基づく工事を開始した。これは竣工後20年以上を経過し老朽化が進む設備を計画的にリニューアルしていくものである。今年度はペデストリアンデッキや5号館外壁の修繕、汚水処理場の設備更新などを実施している。
また、ラグビー場を人工芝化した。最高水準の人工芝を採用するとともに、人工芝の下全面にシヨックパッドを敷設するなど安全性に配慮した仕



市ヶ谷キャンパス

様の工事を進めている。さらには、プールの設備の改修工事も行った。体育の授業や体育会の活動での積極的な活用が期待される。
【付属校】
中学高等学校では2007年4月に三鷹市牟礼に移転し、緑豊かな自然環境と多彩な施設を擁する21世紀型キャンパスで日々の授業が行われている。
第二中・高等学校では中学高校に分かれていた教員室を統合し、より強固な連携につなげるための改修工事を行った。ほかに、構内道路の整備や既存施設の整備・更新工事を実施した。



改修されたプール

そして現在、スポーツ健康学部(仮称)の開設に合わせ18号館(旧工学部棟)の改修工事が進行中である。2009年2月の竣工を目指し、フィットネススタジオや運動

【その他】
富士セミナーハウスでは、劣化の激しい屋根の



敷かに行われた神事

塗装工事や温水ヒーターの更新工事を実施した。
小金井キャンパス東館の竣工式を挙げて、9月27日、増田総長をはじめ大学関係者、後援会役員、設計・施工業者、近隣町会関係者らが見守る中、小金井キャンパス東館の竣工式が執り行われた。
厳かな神事で竣工を祝



特選受賞者と加藤常務理事

また式の席上、後半工事で整備予定の中庭についてアイデアを募集した「中庭アイデアコンペ」の受賞者に対しての表彰式も行われた。
特選に輝いたのは、「ケンパン広場」というコンセプトで応募した野村裕志さん、宮下幸多さんとともに工学研究科建設工学専攻修士2年の作品。

3年連続志願者 9万人突破に向けて

2009年度入試展望

2009年度 法政大学入学試験日程一覧

【一般入試 T日程】東京・札幌・仙台・新潟・金沢・長野・名古屋・大阪・広島・福岡の10会場で実施

| 試験日 | 学部 | 郵送出願期間(締切日消印有効) |
|---------|--|------------------|
| 2月5日(木) | 法学部・文学部・経済学部・社会学部・経営学部・国際文化学部・人間環境学部・現代福祉学部・キャリアデザイン学部・理工学部・生命科学部・デザイン工学部・情報科学部・スポーツ健康学部(すべて全学科) | 1月5日(月)～1月22日(木) |

※GIS(グローバル教養学部)と、理工学部機械工学科航空操縦学専修はT日程入試での募集を行いません。

【一般入試 A方式】東京・札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡の6会場で実施

| 学部 | 学科 | 郵送出願期間(締切日消印有効) | 試験日 |
|-------------------------------------|-----------------|------------------|----------|
| 文学部 I 日程 | 哲学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月7日(土) |
| | 日本文学科 | | |
| | 史学科 | | |
| 経営学部 I 日程 | 経営学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月7日(土) |
| GIS(グローバル教養学部) | グローバル教養学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月7日(土) |
| 法学部 I 日程 | 国際政治学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月8日(日) |
| 文学部 II 日程 | 英文学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月8日(日) |
| | 地理学科 | | |
| | 心理学科 | | |
| 経営学部 II 日程 | 経営戦略学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月8日(日) |
| | 市場経営学科 | | |
| 経済学部 I 日程 | 国際経済学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月9日(月) |
| | 現代ビジネス学科 | | |
| 社会学部 I 日程 | 社会政策科学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月9日(月) |
| | メディア社会学科 | | |
| 現代福祉学部 | 現代福祉学科 | 1月5日(月)～1月27日(火) | 2月9日(月) |
| 理工学部 I 日程 | 機械工学科(機械工学専修) | 1月5日(月)～1月30日(金) | 2月11日(水) |
| | 応用情報工学科 | | |
| 生命科学部 I 日程 | 生命機能学科(生命機能学専修) | 1月5日(月)～1月30日(金) | 2月11日(水) |
| デザイン工学部 I 日程 | 都市環境デザイン工学科 | 1月5日(月)～1月30日(金) | 2月11日(水) |
| | システムデザイン学科 | | |
| 経済学部 II 日程 | 経済学科 | 1月5日(月)～1月30日(金) | 2月12日(木) |
| 社会学部 II 日程 | 社会学科 | 1月5日(月)～1月30日(金) | 2月12日(木) |
| スポーツ健康学部 (2008年11月30日現在 設置認可申請中) | スポーツ健康学科 | 1月5日(月)～1月30日(金) | 2月12日(木) |
| 理工学部 II 日程 | 電気電子工学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月14日(土) |
| | 経営システム工学科 | | |
| 生命科学部 II 日程 | 生命機能学科(植物医科学専修) | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月14日(土) |
| | 環境応用化学科 | | |
| デザイン工学部 II 日程 | 建築学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月14日(土) |
| 人間環境学部 | 人間環境学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月15日(日) |
| 情報科学部 | コンピュータ科学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月15日(日) |
| | デジタルメディア学科 | | |
| 法学部 II 日程 | 法律学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月16日(月) |
| | 政治学科 | | |
| 国際文化学部 | 国際文化学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月16日(月) |
| キャリアデザイン学部 | キャリアデザイン学科 | 1月5日(月)～2月2日(月) | 2月16日(月) |

【大学入試センター試験利用入試前期】

| 試験日 | 学部 | 学科 | 郵送出願期間(締切日消印有効) |
|---------------------------|--|-----------------------|--------------------------|
| 1月17日(土) ・ 1月18日(日) | 法学部・文学部・経済学部・社会学部・経営学部・人間環境学部・現代福祉学部・キャリアデザイン学部・理工学部・生命科学部・デザイン工学部・情報科学部 | 左記学部のうち、文学部心理学科を除く全学科 | 1月5日(月) ・ 1月16日(金) |

【大学入試センター試験利用入試後期】

| 試験日 | 学部 | 学科 | 郵送出願期間(締切日消印有効) |
|---------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------|
| 1月17日(土) ・ 1月18日(日) | 法学部・文学部・経済学部・経営学部・人間環境学部・現代福祉学部・キャリアデザイン学部・理工学部・生命科学部・デザイン工学部・情報科学部 | 左記学部のうち、文学部心理学科、デザイン工学部建築学科を除く全学科 | 2月24日(火) ・ 3月9日(月) |

※国際文化学部、GIS(グローバル教養学部)、スポーツ健康学部(仮称)はセンター試験利用入試を実施しません。

2009年度の 入試改革

2008年度の理工学部、生命科学部およびGIS(グローバル教養学部)の開設に続き、2009年度はスポーツ健康学部が新設され、一般入試T日程およびA方式試験を実施する予定である(2008年11月末現在、設置申請中)。

スポーツマネジメント系の学部・学科は、2008年度に開東および関西の有力私大において多くの志願者を集めており、受験生の関心が高いことが示されている。このことから本学のスポーツ健康学部も相当数の志願者を集めることが想定される。

また、センター試験利用入試では、新たに経済学部国際経済学科、現代

ビジネス学科において後期日程を導入する。受験生にとっては、この2学科の受験チャンスが増えることとなり、志願者数の増加が予想される。

既存学部においても一般入試での科目変更がある。国際文化学部T日程では「情報関連」、小論文を廃止し、「国語」または「数学」の選択となり、デザイン工学部建築学科では「表現力型」を廃止する。

さらに今年度からセンター試験利用入試の合格最低点・得点率を「大学案内」に掲載することによって、受験生や社会への情報開示を推進し始めた。

本学を取り巻く 状況

大手予備校や出版社は、2008年度の志願者増・合格者減により本学の難易度が全体的に上昇しつつあると分析している。従来の傾向が繰り返されるなら、2009

年度入試では本学への志望が敬遠される可能性もある。特に大きく志願者を伸ばした学部・学科については、反動からの減額を工夫しており、受験生の争奪戦が激化しているのが実情である。

設置2年目のパイロット養成を目指す理工学部機械工学科航空操縦学専修では、出願に際しての英語資格要件の緩和や受験生への周知広報期間の十分な確保により、今年度以上の志願者増が期待できる。

より多くの受験 生に選ばれる大 学を目指して

より多くの受験生に選ばれる大学を目指し、今年度も既に3キャンパスでオープンキャンパスを積極的に実施し、多数の来場者を集めた。また教員による各分野にわたる模擬授業の実施、来校した高校生への対応、全国各地の高校への訪問、全

図書館のさまざまな 取り組み

ゼミサポート制の充実や情報リテラシー教育

図書館では、学部教授会との連携により、学生の自主的な学習をサポートする新たな授業連携システムを創設し、授業支援を行って

学生の情報検索能力(文献入手)育成を支援するため、図書館員が法律系・文学系、経営系などの分野をそれぞれに担当し、教員と連携してサポートを実施している。また、学生に学習テーマを記したエントリーシートを提出してもらい、選書や個別指導へつなげている。多摩図書館では、今まで行っていたゼミサポート制をさらに充実させ、専門ゼミに注力している。

市ヶ谷図書館では、

内のみならず、全世界からアクセスが可能である。2008年10月31日現在で約1500件のコンテンツが登録されている。

学術機関リポジトリ(Repositorio)とは、特定のテーマを調べるために役立つ資料や情報を分かりやすく示した、いわゆる「道しるべ」のようなものである。図書館でも「生涯学習」や「財務データ」のパスファインダーを作成してホームページで公開している。

科研費実績と伸びる 伸びにむけての取り組み

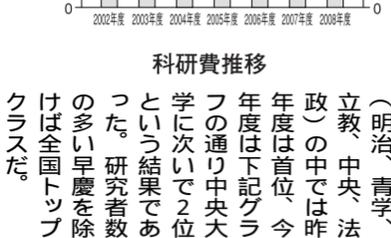
研究開発センター

科研費とランキング
ランキングは昨今の大学外では、昔からの入試の難易度による大学ランキングは今も健在だ。分野別で司法試験、公認会計士試験の合格者数というものもある。

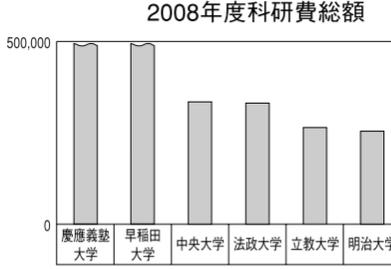
一方、これら指標を含め、より総合的な見地から行うランキングがビジネス誌を中心に盛んである。財務データ、就職状況などを駆使し、大学を財務力、教育力、規模などさまざまな角度から分析・評価する。そこで大学の研究力を測る物差しとして必ず参照されるのが科学研究費補助金(略称

「科研費(かけんひ)」。科研費(かけんひ)は、科研費(かけんひ)の優れた研究成果が生み出されてきた。科研費の応募は、研究の規模や研究者の年齢(若手)などいくつかのジャンルに分けられるが、いずれにしろ申請後一定の審査に付され、おおむね4分の1の案件が採択、つまり合格となる。審査員は広く大学などから推薦、選考され、厳格な審査過程を経て採択不採択が決定されるといふ典型的な競争的資金である。そしてこ

れまで科研費により、多くの優れた研究成果が生み出されてきた。科研費の応募は、研究の規模や研究者の年齢(若手)などいくつかのジャンルに分けられるが、いずれにしろ申請後一定の審査に付され、おおむね4分の1の案件が採択、つまり合格となる。審査員は広く大学などから推薦、選考され、厳格な審査過程を経て採択不採択が決定されるといふ典型的な競争的資金である。そしてこ



この科研費を担いでいる事務部局が研究開発センターである。文部科学省主管の競争的資金、例えばグローバルCOEプログラム(21世紀COEプログラム)の後継)、教育GIP(グッドブランクティス)などの取り組みの申請も担っている。その使命は、本学の研究者が科研費などの競争的資金獲得を円滑に進められるよう支援することであり、さらに戦略案件としての競争的資金全般のけん引役も担っている。科研費への応募を促進するための種々のインセンティブを設け、コンセンサスを得つつ学内制度に工夫を施すこともしている。



「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に本学から2件が採択された。08年度、文部科学省平成20年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、次の研究プログラム2件が選定された。「マイクロ・ナノテクノロジー」による細胞内操作技術と生体機能模倣技術の開発」

「アジア学術セミナー」の開催
独立行政法人日本学術振興会の08年度「アジア学術セミナー」事業に採択された。この事業は、アジア各国から選抜された博士後期課程の院生や若手研究者を対象として、最先端の学術動向をレクチャーするもの。今回のテーマは「生命の環境応答におけるゲノム制御」で、組織委員長を生命科学部の石浜明教授が務める(08年12月開催)。

本研究所は、文部科学省21世紀COE(Center for Global Education)卓越した研究拠点)プログラムに本学の「日本発信の国際日本学の構築」が採択された。2002年に設立された。以来、本学既設の野上記念能楽研究所、沖縄文化研究所と連携し、新たな「国際日本学」の構築に取り組んでいる。「国際日本学」は、外国産と言えよう。ある言語圏で、日本のさまざまな文化現象を対象に行われている学問研究が、その言語圏で、まとめて「日本学」の名で呼ばれている。そこには文学、哲学、社会学、人類学など人間科学の多様な観点

日本を世界に、世界を日本に

国際日本学研究所長 安孫子 信

ある。これによって、日本における日本研究の諸成果が、より多量により直接に、外に発信されていくことになる。それは世界各所で「日本学」を活性化させるとともに、日本文化への新たな関心を喚起していくこととなる。現在、本研究所では、国際シンポジウム、研究会などを通じて、内外の研究者とともに、以上「国際日本学」の研究活動を活発に展開している。その研究成果は、機関誌「国際日本学」をはじめとする各種の出版物を通じて、またウェブサイト(http://aoni.ri.ac.jp/)で、広く公開されている。

理工系学部情報教育システム(edu2007)の構築

小金井情報センターでは、理工系学部情報教育システム(edu2007)を構築した。市ヶ谷への展開を開始したデザイン工学部(2007年4月新設)、2008年4月に従来の工学部を改組し新設された理工学部および生命科学部など、変革期にあたる理工系学部の教育に資するシステムをめざした。

従来の教育システムでは、学部の1~3年生までであった貸与の対象を、在学生全員(学部1~4年生、大学院生)約5000人へと広げ、リテラシー教育から、4年次の卒業研究、大学院生の研究発表など、研究活

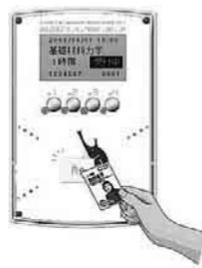
動の領域へ活用機会を拡大している。24時間利用できる学習環境の整備
学生の学習意欲・学習機会の向上のため、24時間365日利用可能なリモートデスクトップ環境を提供している。これにより、自宅など学外から、SSL VPNを介して、情報教室のパソコンをリモート操作でき、情報教室のハードウェア資源、ソフトウェア資源を、

時間や場所を問わず有効活用できる。授業などで情報教室にリモート接続できない時間帯を補完するため、リモート接続専用のブレード型PC64台を導入している。

「eラーニングシステムの提供」
英語・Learningシステムとして、ALC Net Academyを導入し、学生はネットワークを経由して場所や時間を選ばずに学習することができ、また、進捗状況や学習結果がデータベースに自動的に登録されるので、学生のレベルやペースに合わせた学習が可能となっている。

情報教室およびマルチメディア教室環境のリプレイス

小金井キャンパスの6教室、市ヶ谷キャンパス田町校舎の3教室の設備をリプレイスし、授業サポートに活用している。各教室のプリン



従来の教育システムでは、学部の1~3年生までであった貸与の対象を、在学生全員(学部1~4年生、大学院生)約5000人へと広げ、リテラシー教育から、4年次の卒業研究、大学院生の研究発表など、研究活

備が夏休みに入ってからでないといけないため、準備期間がとても短くなつてしまつて苦勞します。

それに、今年のイベントでは、定員150人に対してそれを大幅に超える人数の応募があつて、残念ながらお断りした子どもたちがたくさん出てしまいました。これはスタッフ数の拡充とともに今後の課題の一つと思つています。

増田 小さい子どものお世話をするのは何かと大変でしょう。

三ツ橋 今年は教室で段ボールを使って迷路を

ボランティア活動が自分を見つめ直す機会になつた

増田 外から見ていただけでは分からないいろいろな苦勞があるようにですね。逆に、ボランティア活動に参加して良かったこと、とても役立ったことはありますか。

内田 活動に行つて、現地の方にありがと一言と言われたときの感動が一番です。その一言でそれまでの苦勞が吹っ飛び、やってよかった心の底から思います。

ほかに私にとってはいろいろプラス面があつて、中でも良かったのは視野が広がつたことだと思つています。海外に出ると日本とは全く違つた価値観に出会うことがあります。例えば宗教色の強い国に行つたときに、最初はすごく抵抗がありましたが、それも一つの価値観だと受け入れることができるようになりまし

また、プロジェクトを

作りまし。教室を少し暗くして雰囲気を出したのですが、待ち時間が長くなつてしまひ、泣き出す子がいたりして大変でした(笑)。

保護者の中には未就学の子どもを連れていらつしやる方もあるので、託児室を用意して保護者がセミナーを受けている間、保育士の方に面倒をみていただいていたのですが、やはり子どもをやすめるのが上手で、ぐずる子どもをあやすのに私が10分かかったのを1分くらいでおさめてしまつた。これには感心しました(笑)。

増田 古澤さんはどうですか？

古澤 ノートテイクの活動をして良かったことをあげると、集中力がついたり、パソコンを速く打てるようになったこと、ほかの学部の授業に触れられることや、90分間の講義の情報の多さを知り、授業を受けられるありがたさに気付いたことなどがあります。

それ以上に大きいのは、活動を通して多くの仲間に出会えたことです。ボランティア活動を通して今まで気付かなかったことに気付くようになり、自分について見つめ直す良い機会となりました。ノートテイクをサポートするコーディネーターの活動では、ボランティアたちの優しさや思いやりを肌で感じました。ボランティア活動を通して得たものはとても大きいと思つています。

三ツ橋 私たちの活動はお金がかかるため、企業などの協賛が不可欠なのですが、八王子市の子ども育成計画の一環であることから、そう簡単に市からお金をもらえないというわけではありませんでした。それで、私と副委員長と後輩の3年生2人を連れて、八王子市に助成金をお願いに行きました。

そうしたこと社会勉強になりまし。一つのことをやりとげるために

にチーム全体がまとまつた結果、こうやって子どもたちの笑顔につながつたという達成感が得られました。

増田 そういふ経験は、就職活動にも役立ちたのではないですか？

三ツ橋 すごく役立ちました。この活動をしてることが事務の方から現代福祉学部の大山博教授に伝わつて、推薦で受けてみないかという話をいただき、大手食品メーカーのキユーピー株式会社社に推薦していただきました。

実は私は食品業界には興味があつたので、親を大切にすることという言葉があつたので、私はゼミで児童福祉を学んでいて、子どもの虐待などの問題に関心があつた。大学たんけ

ん隊も、家族福祉ということを念頭に置いて企画運営をしてきました。親を大切にすることは家族の一番の幸せにつながると思つたので、それを社訓にしている会社なら、私の考え方もそこで生かすことができるのではないかと思つたのです。

内田 私はゼミで生命の大切さを学んだことと、ボランティア活動で社会貢献をしたいという思いを持つようになったこと、2つが重なつて、医療品メーカーでMR(医療情報担当者)として働く道を選びました。

また、もともと人前でしゃべるのがそれほど得意ではなかつたのですが、ゼミやボランティア活動を通して人前で発表や説明ができるようになったのが就職活動にも大いに役立ちました。

体験した子どもたちが、お礼を言ってくれたことに、涙が出るほど感動しました。苦勞したからこそ評価してくれるうれしさを知つたことも、これから食品メーカーで働

らと思つています。

三ツ橋 大学たんけん隊で私たちが時間をかけてつくつたプログラムを体験した子どもたちが、お礼を言ってくれたことに、涙が出るほど感動しました。苦勞したからこそ評価してくれるうれしさを知つたことも、これから食品メーカーで働

らと思つています。

三ツ橋 大学たんけん隊で私たちが時間をかけてつくつたプログラムを体験した子どもたちが、お礼を言ってくれたことに、涙が出るほど感動しました。苦勞したからこそ評価してくれるうれしさを知つたことも、これから食品メーカーで働



内田 佳奈子さん
法学部政治学科4年

動をしなければと思つた。今年のイベントでは子どもだけでなく保護者さんにも参加していただき、活動をしていただけたらいいなと思つています。

増田 多摩キャンパスにも障がい学生支援室があつて、ノートテイクなどの講座も開いていますね。三ツ橋さんは何か要望などありますか？

三ツ橋 大学にはハード面ではとても多くの支援をしていただきまし

た。今年のは現代福祉学部の校舎はすべて使えたのですが、社会学部、経済学部の校舎も使えれば、もっと大きなイベントができたので、欲をいえば、すべて使わせていただきたかっ、というのがあります。

増田 後輩の皆さんにはいいアドバイスになると思います。3年生の古澤さんはどうですか？

古澤 私、大学生活の中でやりたいことがあれば、迷わず積極的にすぐやつたほうがいいと思つています。

一般学生や先生方への啓発活動を大学で行つてほしい

増田 皆さんの活動は、後輩たちに受け継がれてこれからも続いていくと思つています。活動に

関係して法政大学に要望することや期待することはありますか？

内田 私たちは法政で献血のお手伝いや、先日の法政フェアに呼んでいただいたり、活動の場を提供していただいているので、特に要望というのはないのですが、会員数に対して活動の場が少な

い。自分自身については、これから何らかの形で聴覚に障がいを持つ人たちと一緒に生きていけるようにしたいです。私自身、ボランティア活動を通して得たものが大きいので、今度は自分がほかの人たちに還元してい



古澤 妙子さん
経営学部経営学科3年

た。今年のは現代福祉学部の校舎はすべて使えたのですが、社会学部、経済学部の校舎も使えれば、もっと大きなイベントができたので、欲をいえば、すべて使わせていただきたかっ、というのがあります。

増田 後輩の皆さんにはいいアドバイスになると思います。3年生の古澤さんはどうですか？

古澤 私、大学生活の中でやりたいことがあれば、迷わず積極的にすぐやつたほうがいいと思つています。

自分でがんばつたと思えるものを見つければいい行動してほしい

増田 4年生の内田さん、三ツ橋さんは、だんだん卒業が近づいてきま

す。自分では何でいいのかわからない、でも、資格取得でも何でもいいので、自分でがんばつたと思えるものを見つければいい行動してほしいです。

三ツ橋 大学は高校と違つて、いろいろな面で強制力がなくなる場なのですが、だからといって遊んでいては、大

自分では何でいいのかわからない、でも、資格取得でも何でもいいので、自分でがんばつたと思えるものを見つければいい行動してほしいです。

三ツ橋 大学は高校と違つて、いろいろな面で強制力がなくなる場なのですが、だからといって遊んでいては、大

自分では何でいいのかわからない、でも、資格取得でも何でもいいので、自分でがんばつたと思えるものを見つければいい行動してほしいです。

三ツ橋 大学は高校と違つて、いろいろな面で強制力がなくなる場なのですが、だからといって遊んでいては、大

自分では何でいいのかわからない、でも、資格取得でも何でもいいので、自分でがんばつたと思えるものを見つければいい行動してほしいです。

三ツ橋 大学は高校と違つて、いろいろな面で強制力がなくなる場なのですが、だからといって遊んでいては、大

学生スタッフが大活躍 文部科学省・学生支援GP採択事業

「学生の力」を活かした学生支援体制の構築

中間報告

本学の「学生の力」を活かした学生支援体制の構築が、2007年度文部科学省・学生支援GPに採択された。学生支援GPとは、新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラムの中で、学生の人間力を高め、人間性豊かな社会人の育成・輩出を目指して実施されている。

本学で採択された取り組みは、法政PSC(ピア・サポート・コミュニケーション)、「学生が学生を支援する」をコンセプトとしたピア・サポート活動をプロジェクト形式で展開、学生と大学とが協働して取り組んでいる。

プロジェクト開始から1年。経過報告として、主な動きを紹介する。



ボランティア支援プロジェクト
春のボランティアイベントでは新歓時期ということもあり、約200人が参加し大盛況となった。このイベントをきっかけに、サークル員が増えた団体もあった。



同郷会プロジェクト
春に新入生サポーターとして、学生生活上の疑問点を解消する「同郷会交流窓口」を開設した。また、一人暮らしの学生を支援する冊子『How to 一人暮らし』を作成・配布した。



ピア・サポートプロジェクト
2008年度から始めた林業体験。森づくりに先立ち「法政の森づくり」という看板を立て、皆野町長はじめ、森づくりの講師と一緒に記念撮影。



課外教養プログラムプロジェクト
「見るだけに終わらない、考える見学」をテーマに、学生スタッフが工夫を凝らした企画、シリーズ「大学生の社会科学見学」。これは、JAL機体整備工場見学時の様子。

★★★ Hosei PSC サイトも随時更新中 ★★★
その他、各種スキルアップを目指す「エンパワーメントプロジェクト」、先輩による後輩への就活支援「キャリア支援プロジェクト」もある。全ての情報はコチラ <http://www.hosei.ac.jp/gakuseishien/>

ボランティア支援プロジェクトは、春のボランティアイベントでは新歓時期ということもあり、約200人が参加し大盛況となった。このイベントをきっかけに、サークル員が増えた団体もあった。

同郷会プロジェクトは、春に新入生サポーターとして、学生生活上の疑問点を解消する「同郷会交流窓口」を開設した。また、一人暮らしの学生を支援する冊子『How to 一人暮らし』を作成・配布した。

ピア・サポートプロジェクトは、2008年度から始めた林業体験。森づくりに先立ち「法政の森づくり」という看板を立て、皆野町長はじめ、森づくりの講師と一緒に記念撮影。

課外教養プログラムプロジェクトは、「見るだけに終わらない、考える見学」をテーマに、学生スタッフが工夫を凝らした企画、シリーズ「大学生の社会科学見学」。これは、JAL機体整備工場見学時の様子。

進むFD活動

FD義務化

2005年4月に発足した法政大学FD推進センターは今年4年目を迎えている。この間、07年には大学院におけるFDが義務化され、08年には学部におけるFDが義務化された。大学院におけるFD義務化が先行した理由は、大学院は大学教員を育成・供給する最大の場であるため、将来のFD活動の担い手を確保することを優先したといわれている。

FDとは、Faculty Developmentの略である。Facultyには、「能力」「機能」「学部」などの意味があるが、「学部・大学院教授団」のこと。開発には研究能力を開発する側面もある。しかし、一般的にFDとは教授団の教育能力を向上させることを意味する。文科省流の言い方をすると、「大学は、当該大学の授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」となる。

FD義務化のポイントはどこにあるのかといえど、教育などの改善を組織的に「実行しなければならぬ」ということである。さて、全学的なFD推進の進捗

FD推進センター長 大沢 暁

意味があるが、「学部・大学院教授団」のこと。開発には研究能力を開発する側面もある。しかし、一般的にFDとは教授団の教育能力を向上させることを意味する。文科省流の言い方をすると、「大学は、当該大学の授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」となる。

FD義務化のポイントはどこにあるのかといえど、教育などの改善を組織的に「実行しなければならぬ」ということである。さて、全学的なFD推進の進捗

委員会は、「学生による授業評価アンケート」を実施する母体として誕生した。最初の全学共通授業評価アンケートは、04年度前期に行われ、115の5段階評価でみる。授業に対する総合的な満足度の平均は、学部で3.5、大学院で4.0であった。08年度前期では、4.0と4.2となっており、満足度は毎年徐々に上がっている。満足度は、授業の内容が難しいほど低く、逆に比較的容易な授業ほど高くなる傾向にあるので、ポイントが高ければよいというわけではない。しかし、授業の工夫を聞く項目をみると、「大いにその点」評価がこの4年間で14ポイントほど上がっており、教員の努力に対する満足度の上昇である。

センターの活動とFDの進捗

センターの前身は、03年11月に設置された法政大学全学FD推進委員会であった。全学FD推進

FD活動の恒常化

最近、FD疲れという言葉が耳にする。疲れているのではなく、FDが日常化しつつあるのだと思う。本学の例をひとつ挙げると、キャリア・デザイン学部はFDを含む授業問題について、学生を巻き込んで常時議論し、実践している。最初に述べたが、FD活動の主体は各教学単位である。センターは黒子に徹し、教学単位のFD活動を支援していきたい。

地域研究センターの1年

地域社会と大学を結ぶ アクティブな研究教育活動

長期海外留学制度の実現
地域研究センターは2003年に大学の社会貢献部門を担う戦略的・実践的な研究機関として設立された。同年、文部科学省の私立大学学術高度化推進事業の採択を得て過去5年間にわたり、自治体の政策形成の拠点としてネットワークを構築し、自治体が当面する政策課題の解決を通して政策研究を深め、またその過程で研究者と政策担当者の養成を目的とした体験的・実践的な人材育成教育に取り組んできた。遠隔地域での人材育成事業「法政大学地域づくり塾」

地域社会をフィールドとする実践的体験教育研究成果は、学部生を

また同時に、地域社会への貢献に資することを目的とし、最終的には1年間の取り組みの成果として個々のクライアント(中小企業・商店街・NPO等)のマネジメント・プロセスに実際に参加することで、課題発見から解決までの手法を学び、その実践の中で課題解決・

この事業は文部科学省からさらに3力年の継続が認められ、ネットワークの拡充と実践的な研究教育活動への取り組みを展開させていく方針である。



【学び直し】体験プログラム
この事業は文部科学省からさらに3力年の継続が認められ、ネットワークの拡充と実践的な研究教育活動への取り組みを展開させていく方針である。

国際交流センターの活動

国際交流センター

長期海外留学制度の実現
文部科学省による大学院生を長期海外大学院等に派遣し、学位取得や専門分野の研究を行う国際化推進プログラムに本学から1名が採択された。現在、ニューヨーク市立大学大学院で研究活動に専念。また一昨年11月に日加戦略的留学生交流支援プログラムに加盟し、1名が合格。現在、プリンス・エドワード・アイランド大学で留学生活を送っている。

2008年、新規に8大学と協定を締結し、本学の協定校は23カ国65大学・機関となった(2008年10月末現在)。学術交流協定のほか、学生

は不可、Eは未履修)。GPA制度導入の「メモリの保証」という観点からGPAを退学勧告に利用し、成績不振の学生の奮起を促すために利用している他大学もある。GPAに関して、法政大学はまだまだである。

FD活動の恒常化

最近、FD疲れという言葉が耳にする。疲れているのではなく、FDが日常化しつつあるのだと思う。本学の例をひとつ挙げると、キャリア・デザイン学部はFDを含む授業問題について、学生を巻き込んで常時議論し、実践している。最初に述べたが、FD活動の主体は各教学単位である。センターは黒子に徹し、教学単位のFD活動を支援していきたい。

C Orange 主催、法政大学後援会・国際交流センター(後援)が富士見坂校舎ステラピアホールで開催され、今年は3キャンパスから留学生12人が出場した。留学生の支援体制の充実。2008年4月2日、先輩の留学生、日本人学生がサポーターとして参加した新外国人留学生向けオリエンテーションを実施。新しい試みとして新聞に取り上げられた。また7月には留学生に対する就職ガイダンスを実施。さらに外国人留学生が充実した学生生活を送れるようサポートすること、法政大学の国際交流を活性化することなどを目的としてSOIC(留学生支援スタッフ)を立ち上げ、現在は約30人が活動している。



日本文化 Ekaterin
最優秀賞のエカテリーナ・ツォイさん(タシケン 国立東洋学大学)

O B 訪 問

正面から障がいを受け入れ 世界の大会を目指す



撮影：パラフォト/阿部謙一郎

車いすバスケットボールは競技本来のゲーム性に加え、車いすを駆使したスピード感、障がいの軽重を越えたチームワークなどが魅力となりファンの層を広げている。前田憲造氏はその日本代表選手として2008年9月に開催されたパラリンピック北京大会に出場した。幼くして左足を失い、義足で生活してきた前田氏だったが、障がい者スポーツとの出会いは遅かった。学生時代は健康者と変わることなく、中学時代はバスケットボール部、法政大学第二高校時代は柔道部で活動した。

「先生や先輩方の配慮のおかげですが、高校では何も不自由を感じることもなく普通に試合に出て、黒帯も取って、楽しいクラブ生活でした」

大学ではクラブには所属しなかったものの、週末に友人たちと集まっていたバスケットの練習をしてきたという。そんな前田氏は大学時代後半になって、義足の調整のために訪れた医師との何気ない会話の中で障がい者

スポーツの存在を知った。悔しさをバネにのめり込む長い間、健康者との間に感じてきた義足のハンデから解放されて全力でプレーできる。意気込んで飛び込んだ車いすバスケットの世界だったが、意外にも現実のハードルは高かった。まず障がいとなつたのは、車いすそのものの操作技術。コートの中で猛ダッシュをかけ素早くターンするには、それなりの技術と上半身の爆発的なパワーが必要となる。初めて車いすに乗った前田氏にとって、それは至難の技だった。

「チームの中で自分の障がいの程度は最も軽いのですが、それでも初めはスピードもパワーも追いつかなくて、ずいぶん悔しい思いをしました」

だが、その悔しさがバス回りの確さと上体を大きく使つてのシユート力にある。子どものころからバスケットを続ける中で自然と身に付けた能力なのだが、オランダ大会以降はその技術を意識的に磨くことに努めた。

「オランダ後、もう一歩前へ進むことを考えたとき、がむしゃらに練習しても限界があることに気がついたのです」

以後、コートを離れても、より効果的なパス展開をイメージし続け、練習の質を高めることを心掛けた。それが北京の代

表選手の座につなげたのだという。

自分の障害を受け入れる車いすバスケットの醍醐味はチームプレーにあると前田氏は言う。車いすバスケットのルールは障がいのレベルの異なる選手同士が協力してゴールを目指すように工夫されている。障がいの重いプレーヤーは姿勢を保つために、車いすの車高が低く、高さが無い部分でシユートを狙うのが難しい。そこで敵陣に盾となって突入し前田氏のような障がいの軽いプレーヤーをゴールの下へ導く連携プレーも頻りに使われる。

「一本のシユートは、バスを回す仲間や盾になつてくれる仲間が一つになつて成功するのです。チームプレーの面白さは一般のバスケットよりも強く感じますね」

車いすバスケットを通してチームワークの素晴らしさを味わうにつれ、自身の障がいとの向き合い方も変化していった。

「大学時代までは、障がいとは思っていませんでした。気がついたのは、練習の質を高めることを心掛けた。それが北京の代



前田 憲造氏

(まえだ・けんぞう)
1975年東京都生まれ。法政大学第二高校、法政大学工学部経営工学科を卒業。学生時代に障がい者スポーツの陸上競技を始め、かながわゆめ国体に出場。大会会場で車いすバスケットと出会い、川崎市車椅子バスケットボールチームへ入団。神奈川県チームを経て現在は森本文化風呂商会(藤沢市)に所属。2006年世界車椅子バスケットボール選手権大会(オランダ)、2008年パラリンピック北京大会ともに日本代表選手に選出。ポジションはパワーフォワード。川崎市高津区役所勤務。

「最終的にアテネには出られず、オランダの試合の時の時間が長かったです。最後の一線を越えられないうちの中、練習方法を足元から見直すようになっていきました」

前田氏の持ち味は、バス回りの確さと上体を大きく使つてのシユート力にある。子どものころからバスケットを続ける中で自然と身に付けた能力なのだが、オランダ大会以降はその技術を意識的に磨くことに努めた。

「観客席は年々、活況を帯びてきていますね。北京では日の丸を掲げて応援してくれている人たちが多いと感じました」

前田氏は再び世界を目指す。次は2010年にイギリスで開催される世界選手権。そして2012年のパラリンピックロンドン大会だ。

「今度こそメダルを手にしたいですね。ロンドン大会の出場がかなえば、私はチーム最高齢になるでしょう。そのとき、チームをリードする存在でいたいと思います」

キャリアセンターの取り組み

4年生の内定保有状況

キャリアセンターでは、民間企業就職希望者の内定保有率調査(800人サンプル調査)を定期的に実施している。2008年10月1日付調査による内定保有率は83.6%であり、本年3月末に実施する全数調査では、前年度同様93%程度の内定保有状況になると予想している。

4年生の就職環境

本年3月卒業予定者の就職活動時点での就職環境(08年春ごろ)は米国のサブプライム問題が騒がれ始めたと同時に、原油高による原材料費の高騰など企業を取り巻く経

営環境の不透明感が強まり、景気減速の懸念が高まってきた時期でもあったが、団塊世代の大量退職を控えた企業の旺盛な採用意欲もあり、依然、追い風が吹いていた。大卒を対象とする求人総数は前年に引き続き過去最高となり、求人倍率も前年と同水準の2.14倍であった。

企業規模別にみると、従業員1000人未満企業の求人倍率は、4.26倍と高い水準を示したが、従業員1000人以上の企業では、前年と同水準の0.77倍にとどまった。つまり、大手企業への就職は依然として楽ではない状況にあったといえる。

ここ数年、いわゆる売り手市場と呼ばれ、採用計画人数の確保が困難になるという危機感から企業の採用活動の早期化が目立ってきた。

3年生の秋口から就職情報会社主催の合同企業説明会などが頻りに開催され、3年生はこれらの説明会に参加するために授業を欠席する事態も起きている。企業側も早期化がより加速している。

このような事態については、今後、大学団体、経済団体、就職情報誌関連業界が連携して真摯に議論を行う必要があると考えている。

キャリアセンターについて

2005年度にそれまでの就職部から「キャリアセンター」に名称を変更。同時に、その役割も従来の「高学年(3、4年生)の就職活動支援」だけでなく、低学年(1、2年生)からのキャリア形成支援にも力を入れている。

市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスに専任職員(キャリアアドバイザー)のほか、企業経験者であるシニアアドバイザー、キャリアアドバイザーといたった経験豊富なスタッフが配置し、キャリア形成・就職活動に関するさまざまな支援を行っている。

キャリアセンターの業務は大きく分けて2つある。第1は、主に低学年からのキャリア形成支援。就職や進路のほか、充実した大学生活のグラウンドデザイン作りやライフキャリア(生き方、働き方、学び方)に関するシニアアドバイザーやサポートを行っている。

「インターンシップ」「マナー講座」「社会人」と「仕事」を考えるセミナー。企業説明会(約400社)など学生の要望に応え、質・量ともに充実したプログラムを展開し、支援している。

難関資格試験・採用試験の合格状況

難関資格試験・採用試験とされる、国家公務員I種採用試験、公認会計士試験、司法試験の今年度の結果が判明した。

国家公務員I種採用試験には7人が合格し、2人が内定を獲得した。公認会計士試験は、公認会計士・監査審査会が出身大学別に合格者を発表していないため集計に苦慮しているが、2008年11月末時点で48人の本学関係者の合格が判明している。また、このうち4人は本学の会計大学院(イノベーション・マネジメント研究科アカウティング専攻)の院生・修了生である。

司法試験は、新司法試験において32人、旧司法試験においては3人の本学関係者がそれぞれ合格を果たした。なお、新司法試験の合格者は昨年(07年)に比べて8人増加した。

また、増田壽男総長、元最高裁判所判事の遠藤光男氏(1952年本学法学部卒)をはじめとする関係者も出席し、合格者の祝賀会が2008年9月29日にアルカディア市ヶ谷で盛大に行われた。

さらなる飛躍に向けて 通信教育部

本学通信教育部は、1947(昭和22)年にわが国最初の大学通信教育として誕生し、翌1948年に文部省(現文部科学省)により、大学の正規課程として正式に認定された。この本学から始まった大学通信教育課程は、現在(2008年度)では、51校(うち通信制の学部を置く大学41校、大学院を置く大学25校)、短期大学は10校となり、ここで学ぶ学生数は、大学23万人、大学院9千人、短期大学2万3千人を数えるほどの発展を遂げている。

11月29日には、本学と同時期に認可された慶應義塾大学、中央大学、日本女子大学、日本大学の5大学通信教育部が共同

で、これまでの60年を振り返りながら、今後の通信教育のあり方について模索する「60周年記念5大学通信教育シンポジウム」が、市ヶ谷の日本大学会館において開催された。当日は多数の通信教育関係者が出席する中、「わが国における大学通信教育の現状と未来」をテーマに、本学の屋嘉宗彦通信教育部長をはじめとする5大学の基調報告とパネルディスカッションが実施され、初冬にもかかわらず、熱い意見が交換された。

一方で、本学通信教育部の現状に目を向けると、2008年5月現在の在籍者数は、本科生8千2百人であり、1995年の2万359人に対し

約40%となっている。これは、当時の大学数が15校であり、大学選択の余地がない時代であったことを考慮すれば、当然の動向とも言えるであろう。しかしながら、わが国の通信教育課程をリードする大学として、今後を見据えた展開が必要であることはいうまでもない。ここ数年、本学通信教育部は大きく変貌を遂げてきた。具体的には、2006年度後期生からの実質的な入学選考の実施、2007年度入学生から適用された進級に関する規程の制定、そして今年度から新メディアスキャンニングとして開講が開始されたメディア授業の充実などが挙げられる。

今後の改革の議論も進行しており、さらなる飛躍に向け、通信教育部のこれからの行く末に期待したい。

中高

「新しい大学付属校 価値」の創出

現在本校が入試広報において、もっとも重要視しているキーワードは「新しい大学付属校の価値」の創出である。

受験界では、「どの大学に何人入学できたか」を競い合っている風潮もなきにしもあらず。しかしそうした学校選びに疑問を持ち、「子供にとって人生の本当の基礎力を付けることができる学校はどこか」を厳しくチェックする保護者が増えている。もはや大学にエスカレーター式に入学することを「ウリ」とする時代ではない。

「時間的なゆとり」から「選択肢が豊富であるゆとり」への転換が、まさに今回の学校改革の神髄であり、今後の本校の使命である。

2009年度には、ようやく全学年の共学化が完成する。大学進学後、さらにその先の十年、二十年後に

おいても常に自分らしさを追求し、たくましく生きていくこと、言い換えれば「キャリアクリエーション」を實踐できる生徒を育てていくために、さらなる教育プログラムの充実を力注ぎたい。

2010年度からは小金井の中大附属、上石神井の早大学院がそれぞれ中学位を新設する。学校改革の先発の利を生かし、しっかりと実績をアピールして、学校のさらなる発展のために教職員一同、努力していきたい。

2009年度には、ようやく全学年の共学化が完成する。大学進学後、さらにその先の十年、二十年後に

信

短

校

属

付

一・中高

初のホームカミングデーを開催

抜けるような青空に銀杏並木の映える11月23日、二中高初めての「ホームカミングデー」が催された。

創立期の卒業生を中心とした旧制法政二中史研究会が、「激動の青春 旧制法政二中のあゆみ」を刊行したことが契機となっていた。当日は、1939年に入学した1期から9期までの卒業生約100人が集った。思い出を語り合い、旧制法政二中校歌を斉唱する

などして旧交を温めあつた。今後も毎年、各期の卒業生の集いを開き、若き日の躍動が思い起こされることが願われる。

11月1日と2日には、二中大文化祭と二高祭が行われた。二中では、「未来・なま・学び」自分たちの将来をみえるを、二高では「未来・信頼」をテーマとして掲げ、文化要求を實現する場として取り組んだ。文化系クラブによる研究発表に加えて、最近では自ら脚本を書きあげて劇を演ずる企画が増えてきており、ひとつの自己表現の場としての意味を持つようになってきた。

女子高

30年後の世界は？ 生徒の新たな試み

9月末に開催されたオレシ祭で、生徒会総務と有志生徒による「30年後の世界(地球)を抱える最大の問題は何か?」というアンケート調査の展示発表が行われた。

アンケート調査の往復はがきの送り先は法政大学総長・各学部長、環境問題を専門とする各大学教授、自

返事が届き、また展示の参考に、パンフレットやDVD等もいただいた。

回答は、環境問題(資源の枯渇、食糧難、温暖化、水問題)が圧倒的、次いで戦争危機(核兵器、テロの問題)、人口増加問題、年金問題や格差が深刻化した社会、新型ウイルスの蔓延(延)と続いた。

文化祭は終わったが、生徒は分析を続けている。さらにより多くの生徒とこの問題を共有すべく、前進中である。

ノーベル賞

本学名誉博士のアハテイサーリ氏がノーベル平和賞受賞



アハテイサーリ氏

初の本学ホームカミングデーが市ヶ谷キャンパスのポアンタード・タワー内スイカホールで開催された。04年3月卒業の第一期生を中心に50人を超える卒業生が参加した。近況報告などを行い、教職員や現役学生と交流を深めた。席上、同窓会も発表された。(写真)

また、中学・高校生を対象にした「夏季キャンパス体験学習」を8月22日、23日の両日、小金井キャンパス西館で実施した。約100人の参加者は、楽しみながらCGやプログラミング、ゲームソフト設計などを行っ

た。今後毎年、各期の卒業生の集いを開き、若き日の躍動が思い起こされることが願われる。

11月1日と2日には、二中大文化祭と二高祭が行われた。二中では、「未来・なま・学び」自分たちの将来をみえるを、二高では「未来・信頼」をテーマとして掲げ、文化要求を實現する場として取り組んだ。文化系クラブによる研究発表に加えて、最近では自ら脚本を書きあげて劇を演ずる企画が増えてきており、ひとつの自己表現の場としての意味を持つようになってきた。

大原ネットワーク結成 大原孫三郎関連施設・機関ネットワークが結成され、7月25日に市ヶ谷キャンパスで記念シンポジウムが開かれた。

参加機関は、大原社会問題研究所、川崎市の労働科学研究所、倉敷市の岡山大学資源生物科学研究所、倉敷中央病院、大原美術館の5施設・機関。いずれも大原氏によって設立され、社会貢献活動を行っている。

相互交流を促進しつつ、今後は他の関連施設にも参加を呼び掛けている。

マナビゲートに参加 8月23日、24日に東京国際フォーラムで開催された「学び体験フェア マナビゲート2008」に参加した。

植物医科学専修が顕微鏡で植物の世界をのぞいてみよう!というテーマで、航空操縦学専修が「大学でパイロットになろう!」というテーマで参加し、子どもたちと貴重な触れ合いの機会を持った。

また、同日開催した東京都私立学校展「にも、法政大学中学高等学校が参加。ブースには多くの保護者・受験生が詰めかけた。

多摩キャンパスで消防訓練を実施 11月13日、多摩キャンパスで学生や教職員、関係者ら約70人が参加した消防訓練が行われた。

訓練は高層棟からの避難に始まり、多摩キャンパス自衛消防隊の初期消火演習、町田西消防署から消防車や救急車などが参加しての消火・救助活動が行われた。

AEDの講習(写真) や放水の実演、煙体験、起震車体験には学生も積極的に参加し、キャンパスの防災について理解を深めた。

多摩キャンパスでダンスフェスティバルを開催 第6回多摩キャンパスダンスフェスティバルが10月26日、大教室A棟で開催された。

今年は、町田市市制50周年記念大学連携事業として開催し、例年の一般参加に加え6団体を招待。時間4時間も拡大して行われた。

当日は出場者も含め約800人超の参加者を得た。クラシックバレエやストリートダンス、フラダンス、チャリティーダンスなど各団体は特徴あるそれぞれのダンスを披露。会場の応援も活発で、にぎやかなフェスティバルとなった。

静岡市と協定調印 10月6日、静岡市庁舎で、同市と本学間での地域産業振興と人材育成に関する連携、協力に関する協定調印がなされた。

この協定により本学は静岡市産学交流センター内にサテライトキャンパ

スを開けた。

「大学と人材育成」、新しい時代を拓く「人材の育て方とは?」というテーマのもと、評論家の田原総一郎氏を司会に、本学の増田総長のほか青山学院大学、神奈川大学、関西大学、中央大学、東洋大学、日本大学、早稲田大学の学長らが出席。各大学の取り組みについて語り合った。

また、中学・高校生を対象にした「夏季キャンパス体験学習」を8月22日、23日の両日、小金井キャンパス西館で実施した。約100人の参加者は、楽しみながらCGやプログラミング、ゲームソフト設計などを行っ

た。今後毎年、各期の卒業生の集いを開き、若き日の躍動が思い起こされることが願われる。

11月1日と2日には、二中大文化祭と二高祭が行われた。二中では、「未来・なま・学び」自分たちの将来をみえるを、二高では「未来・信頼」をテーマとして掲げ、文化要求を實現する場として取り組んだ。文化系クラブによる研究発表に加えて、最近では自ら脚本を書きあげて劇を演ずる企画が増えてきており、ひとつの自己表現の場としての意味を持つようになってきた。

大原ネットワーク結成 大原孫三郎関連施設・機関ネットワークが結成され、7月25日に市ヶ谷キャンパスで記念シンポジウムが開かれた。

参加機関は、大原社会問題研究所、川崎市の労働科学研究所、倉敷市の岡山大学資源生物科学研究所、倉敷中央病院、大原美術館の5施設・機関。いずれも大原氏によって設立され、社会貢献活動を行っている。

相互交流を促進しつつ、今後は他の関連施設にも参加を呼び掛けている。

マナビゲートに参加 8月23日、24日に東京国際フォーラムで開催された「学び体験フェア マナビゲート2008」に参加した。

植物医科学専修が顕微鏡で植物の世界をのぞいてみよう!というテーマで、航空操縦学専修が「大学でパイロットになろう!」というテーマで参加し、子どもたちと貴重な触れ合いの機会を持った。

また、同日開催した東京都私立学校展「にも、法政大学中学高等学校が参加。ブースには多くの保護者・受験生が詰めかけた。

多摩キャンパスで消防訓練を実施 11月13日、多摩キャンパスで学生や教職員、関係者ら約70人が参加した消防訓練が行われた。

訓練は高層棟からの避難に始まり、多摩キャンパス自衛消防隊の初期消火演習、町田西消防署から消防車や救急車などが参加しての消火・救助活動が行われた。

AEDの講習(写真) や放水の実演、煙体験、起震車体験には学生も積極的に参加し、キャンパスの防災について理解を深めた。

建築学会作品選奨」ならびに「第8回JEA環境建築賞」を受賞した。

環境に配慮しながら芸術的にも優れた作品であることが評価された。

「日本建築学会作品選奨」は、A1J日本建築学会によって、学術・芸術等の総合的視点から特に優れたものが選出される。また、「JEA環境建築賞」は「地球環境・建築憲章」の理念に基づき、自然共生・省エネルギー等持続可能な社会を創造していく意図に合う建築作品が選出される。

建築学会作品選奨」ならびに「第8回JEA環境建築賞」を受賞した。

環境に配慮しながら芸術的にも優れた作品であることが評価された。

「日本建築学会作品選奨」は、A1J日本建築学会によって、学術・芸術等の総合的視点から特に優れたものが選出される。また、「JEA環境建築賞」は「地球環境・建築憲章」の理念に基づき、自然共生・省エネルギー等持続可能な社会を創造していく意図に合う建築作品が選出される。

安藤忠雄講演会を開催 世界的な建築家である安藤忠雄氏を招いた講演会、可能性は自分でつくるが10月10日、市ヶ谷キャンパスで開催された。デザイン工学部が主催したもので、一般や学生など約750人が参加する大盛況だった。

安藤氏の話は専門の建築分野にとどまらず、人生は1回だから、全力で自分のできることをやればよい」と夢についても巧みな話術で語り、会場を沸かせた。

国際シンポジウム「イノベーションの歴史の起点を」 7月24日、国際シンポジウムの歴史の起点「明治日本における西洋機械技術の導入」を開催した。今年4月の「大学教育のイノベーター」法政大学創立者・薩埵正邦と明治日本本の産業社会。(洞口治夫経営学部教授編)の刊行を記念したものだ。

当日のプレゼンテーションでは、各章の著者がそれぞれ重要性を指摘した横須賀造船所に焦点を当て、同研究の第一人者であるエリザベス・トゥーシエ氏(フランス・リール第一大学准教授)が、横須賀造船所と西洋技術の関係を報告した。

続くパネルディスカッションでは、洞口教授の司会により「日本における外国技術の吸収過程」

をテーマに活発な議論が展開された。

沖縄ドキュメンタリー映画祭を開催 沖縄文化研究所では、9月中旬・10月中旬にかけ、外濠校舎薩摩ホールなどを会場に沖縄ドキュメンタリー映画祭「世(ユ)を見る、繋ぐ」を開催した。

沖縄の祭祀・移民・戦争に関する記録映画を日替わりで上映。学生については無料鑑賞としたこともあり、多くの参加者でにぎわった。また識者や映画制作者などの講演も行われた。

化学を楽しむ実験教室を実施 子どもたちに科学の楽しさを知ってもらうことを目的とした「実験教室(進化型)実験教材をつかって」化学を楽しむが9月6日、20日の両日、多摩キャンパスの研究・実験棟化学実験教室で実施された。

科学技術振興機構の地域科学技術理解推進活動「推進事業 地域活動支援」および化学オリンピック日本委員会の支援で行われた。

運営・指導には経済学部化学担当の山崎友紀教授と、生物担当の岡部雅史教授があたり、両日とも親子など40組を超える参加者でにぎわった。



人材育成協力に関する協定書

6日には実験キットを用い入浴剤や固形燃料づくりを実施。20日にはブラバンクセサリー作成のほか山崎教授開発の進化型教材を用いてプラスチックの特性やリサイクルについて学んだ。

環境改善活動推進キャラクターが決定 本学では、このほど環境改善活動推進キャラクターを公募、多数の応募作品から大賞などを決定した。

大賞に輝いたのは日高香奈さん(人間環境学部4年)の「えこびん」。ゆるキャラの可愛らしいウサギが地球を模したパラシュートで飛んでいるデザインだ。優秀賞には、萩田和将さん(工学部3年)の「環境犬工コロ」が選ばれた。

11月21日には、市ヶ谷キャンパスで授賞式を行い、板橋昇作環境保全統括本部長より受賞者へ賞状と記念品が授与された。大賞キャラクターは今後、法政大学 環境改善活動推進キャラクターとして活躍する予定だ。

本学は1999年度に総合大学としてはわが国初となるISO14001の認証を取得。グリーンユニバーシティを目指し、さまざまな環境改善活動を行っている。



情報科学部

8月2日、情報科学部

8月2日、情報科学部

8月2日、情報科学部

8月2日、情報科学部

8月2日、情報科学部

8月2日、情報科学部

卒業生連携強化準備室を設置

法政大学は、2008年11月1日付で総務部に「卒業生連携強化準備室」を設置しました。

準備室は校友連合会の協力により、同本部事務局内に置かれ、現在2人の職員が校友連合会と連携し業務を行っています。

卒業生と大学双方にとっての共通のゴールは、「母校の永続的存続と発展」にあります。そのため、大学は卒業生の活躍を後押しすべく、卒業生組織への活動支援や卒業生同士の社会的・職業的結束に向けた機会とサービスの提供を行うことが必要です。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

「リーディングユニバーシティ」法政に協力を

法政大学が私立大学のトップとしての地位を築き上げるために長期的視野に立つて、「リーディングユニバーシティ」を支援(補助)します。

法政は、協力をスタートしています。(募金の対象事業など詳しい内容については、同封の趣意書をご参照ください。)

卒業生の皆さまのご協力の下、21世紀のリーディングユニバーシティを築き上げるべく、皆さまの厚意あふれるご寄付をお願いいたします。

また、オレンジCAM PUSカードにより毎年1万円の寄付を納付いただく制度も設けており

ます。卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

が期待されます。「卒業生連携強化準備室」はこのことを念頭に置き、今まで母校の発展を願い活動されてきた校友連合会と十分に連携しながら、今後、全卒業生を対象とする組織体制の構築、財政基盤の確立、人的体制の強化などの取り組みを行います。

また、卒業生は、学生や大学に対し、社会で培われた知見や経験をともに物心両面にわたる支援を行うこと

2008法政フェア

これまで広島、札幌、福岡、東京で行ってきた法政フェア。2008年は新潟と東京(市ヶ谷キャンパス)で開催された。

この法政フェアは、本学の強固なネットワークを全国に拡大していくことを目的とし、昨年の法政大学の一大イベントとなった。

「法政フェア in 新潟」8月30日、新潟県新潟市のホテルイタリヤ軒で、「法政フェア in 新潟」(法政大学後援会と共催)が開催された。

当日は、新潟県全域から卒業生や在校生、父母、受験生など400人超が集結。地元で法政大学に会おうのキャッチフレーズ通り、参加された皆さんが法政大学の今を体感できる特別な一日となった。

受験生向けには代々木ゼミナールの有名講師による本学入試対策講座や、教職員・地元出身の学生スタッフによる説明会や個別相談を実施。4月開設予定のスポーツ健康学部の説明会でも興味深く耳を傾けメモを取る多数の受験生の姿が見受けられた。

今回の新潟フェアは地元校友連合会各支部の固い結束のもと、一般の方にも楽しんでいただけるオープンカレッジとして開催したこだわりが功を奏し、総長対談や文芸対談では、会場に入りきれないほどの参加者に来場いただいた。

当日のオープニングセレモニーでは地元宮浦中学校合唱部によるさわやかな歌声が披露され、中学生による本校校歌の斉唱の際には、感動で涙を流す卒業生の姿もまた、新潟県、新潟県経営者協会、地元有力企業の協力により、Uターン就職力イデオも実施され、大変な盛り上がりを見せた。

その後の懇親会には、新潟市長や地元高等学校長などの多数の来賓を迎え、盛大に開催された。

会場のあちこちで大学時代の思い出話に花を咲かせる卒業生たちの姿もあり、大盛況のうちに幕を閉じた。

なお、今回の法政フェア in 新潟はBSN新潟放送に取材いただき、当日の様子を昨年9月20日に放送された。

「法政大学首都圏フェア」9月28日、市ヶ谷キャンパスを会場に、2008法政大学首都圏フェア(法政大学校友連合会、法政大学後援会と共催)が開催された。

新潟と東京にて開催

学校合唱部によるさわやかな歌声が披露され、中学生による本校校歌の斉唱の際には、感動で涙を流す卒業生の姿もまた、新潟県、新潟県経営者協会、地元有力企業の協力により、Uターン就職力イデオも実施され、大変な盛り上がりを見せた。

その後の懇親会には、新潟市長や地元高等学校長などの多数の来賓を迎え、盛大に開催された。

会場のあちこちで大学時代の思い出話に花を咲かせる卒業生たちの姿もあり、大盛況のうちに幕を閉じた。

なお、今回の法政フェア in 新潟はBSN新潟放送に取材いただき、当日の様子を昨年9月20日に放送された。

「法政大学首都圏フェア」9月28日、市ヶ谷キャンパスを会場に、2008法政大学首都圏フェア(法政大学校友連合会、法政大学後援会と共催)が開催された。

当日は、新潟県全域から卒業生や在校生、父母、受験生など400人超が集結。地元で法政大学に会おうのキャッチフレーズ通り、参加された皆さんが法政大学の今を体感できる特別な一日となった。

受験生向けには代々木ゼミナールの有名講師による本学入試対策講座や、教職員・地元出身の学生スタッフによる説明会や個別相談を実施。4月開設予定のスポーツ健康学部の説明会でも興味深く耳を傾けメモを取る多数の受験生の姿が見受けられた。

今回の新潟フェアは地元校友連合会各支部の固い結束のもと、一般の方にも楽しんでいただけるオープンカレッジとして開催したこだわりが功を奏し、総長対談や文芸対談では、会場に入りきれないほどの参加者に来場いただいた。

当日のオープニングセレモニーでは地元宮浦中学校合唱部によるさわやかな歌声が披露され、中学生による本校校歌の斉唱の際には、感動で涙を流す卒業生の姿もまた、新潟県、新潟県経営者協会、地元有力企業の協力により、Uターン就職力イデオも実施され、大変な盛り上がりを見せた。

その後の懇親会には、新潟市長や地元高等学校長などの多数の来賓を迎え、盛大に開催された。

会場のあちこちで大学時代の思い出話に花を咲かせる卒業生たちの姿もあり、大盛況のうちに幕を閉じた。

エクステンション・カレッジだより

エクステンション・カレッジでは、2008年度も年間を通じてビジネス・IT・学生キャリアアップ・文化教養・資格講座を開設している。

0講座を開設している。近年は学生に語学の講座が好評である。また一般卒業生の方には歴史・教養関係講座が手堅い人気を得ている。

2008年度前半は就職状況が好調であり、学生の関心が前年に比してやや低調であった。後期に入り世界

的な不況が報道されるに連れ、当カレッジの講座への関心が高くなってきている。

受講者のアンケートを見ると、大学教員の講座を受講したいという希望が多く寄せられている。各専門分野の研究者を擁する総合大学としての強みを生かし、今後法政大学の知的財産を社会に還元していく講座を展開したいと考えている。

法政大学中等高等学校で開講しているエクステンション講座も2年目を迎えて、特に地域の方々のコミュニケーションとして広く認知されてきた。受講者の間で横のつながりができ、エクステンション・カレッジの目的である「コミュニケーション」が形成されつつある。今後はより地域社会との連携に重点をおいた講座を充実させたいと考えている。

また、2008年度も法政フェアに参加した。今回は「コーヒー雑学」講座を行った。ご夫婦や家族連れの参加も見られ会場では、コーヒーという身近な飲み物について

のさまざまな豆知識が披露され、実演での飲み比べも好評を博した。

専用Webサイトに「登録ください(無料)」。https://www.hosei.org/ 会員のご登録をされる方には前・後期講座のパンフレット送付やセミナーのご案内のほか、ご希望の方へメールマガジンで各種情報をお送りします。

卒業生の方には割引制度があります。詳細はお送りするパンフレットをご覧ください。

身者を含む)を掲載するため政界、法曹界、官界、文芸界、経済界、教育界、マスコミ界、美術界、演劇・芸能界、スポーツ界などで活躍した、または活躍中の方々。

卒業生にかかわる個人情報利用目的

本学は、教育機関として多くの個人情報を取り扱っており、個人情報保護法(2005年4月全面施行)以前から、その重要性にかんがみ、大学が独自に定めた「個人情報保護規程」などの学内規程の下で保護・管理の徹底を図ってきた。また2005年4月には「法政大学プライバシーポリシー」を策定した。

今後とも学内体制や規程の運用については、法令改正、社会情勢の変化、監査結果などに応じて継続的に改善し、本学ホームページや広報誌・紙で順次掲載していく。

この法政大学報をお届けしている卒業生の個人情報についても厳格な取り扱いを行う一方、卒業後も本学と卒業生との関係を緊密にし、卒業生相互の親睦を図るために活用している。また、業

務委託などで外部に情報処理を委託する場合や、卒業生組織や卒業生個人への提供についても適切な管理・監督を行ってき

た。今後とも確認を含めて厳格に対応していく。

本学は、卒業生カードなどで卒業生から取得した氏名、住所などの個人情報、以下の理由のために利用している。

① 大学からの広報誌・紙の送付および大学の催し物などを案内するため。② 大学や子会社から講座の紹介などのDMを発送するため。③ 卒業生データベースを管理し、統計データなどを作成するため。④ 図書館利用資格の確認および連絡などのため。⑤ 卒業後のネットワーク・コミュニケーションサービス利用資格の確認のため。⑥ 卒業生(個人)からの開示請求に応えるため(ただし理由が妥当なものに限る)。⑦ 就職関係情報の管理のため。⑧ 選挙において立候補者(予定者含む)の卒業生確認が企業などからあった場合。⑨ 官公庁からの申請により開示を必要とする場合。⑩ 本学が発行する広報誌・紙に著名卒業生(出

エクステンション・カレッジだより

のさまざまな豆知識が披露され、実演での飲み比べも好評を博した。

専用Webサイトに「登録ください(無料)」。https://www.hosei.org/ 会員のご登録をされる方には前・後期講座のパンフレット送付やセミナーのご案内のほか、ご希望の方へメールマガジンで各種情報をお送りします。

卒業生の方には割引制度があります。詳細はお送りするパンフレットをご覧ください。

身者を含む)を掲載するため政界、法曹界、官界、文芸界、経済界、教育界、マスコミ界、美術界、演劇・芸能界、スポーツ界などで活躍した、または活躍中の方々。

なお第三者からの情報開示依頼については本学「個人情報開示のガイドライン」に基づき厳格に対応し、開示する場合もデータ項目を最小限に限定するよう努め、また書面にて本人の確認をするなど、不正利用をされないよう細心の注意を払っている。

また、情報提供に際しては適切な情報管理のための助言、指導を行うこととしている。

【お問い合わせ】本学の個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは、法政大学総務部オレンジネット校友課までご連絡ください。

TEL 03(3264)9807 / 平日午前9時~午後5時まで

TEL 03(3264)4924

TEL 03(3264)4924

TEL 03(3264)4924

遺贈による寄付制度について

近年、慣習にとらわれない自由な(法定相続人以外への)相続を求める傾向が強まっており、ご自身の遺産を社会貢献の観点から「社会・公益」のために役立てるケースも出てきております。

遺贈とは、遺言で財産を贈与することで、積極的に自分の志や願望を表現する等、皆さまの思いを具体的な「かたち」にする有効な手段です。

本学といたしましては、教育研究活動の充実を図るため、ご遺言により社会貢献をしたいとお考えの方々の篤志を広く受け入れるために「遺贈による寄付制度」を設けており、信託銀行4行三

菱UFJ信託・みずほ信託・中央三井信託・住友信託)と業務提携を行っております。

関心のある方やお知り合いの方がいらっしゃる場合は、ぜひ募金事務室までご連絡ください。ご相談を承り、提携信託銀行のご紹介など、ご意向に沿った遺贈がなされるようご支援させていただきます(提携信託銀行における相談は無料)。

卒業生に限らずご遺言でもご利用可能な制度であり、遺贈した財産は相続税法上の優遇措置を受けられます。将来に向けた法政大学のさらなる発展のためにご協力のほどお願いいたします。

お申し込み方法【お申し込み方法】同封の入会のご案内をご返送ください。【お問い合わせ】オレンジネット校友課 TEL 03(3264)4924

法政オレンジCAM PUSカード、卒業生会員大募集!

本学卒業生・在学生・父母・教職員など関係者専用のオフィシャル・クレジットカード(DC、UC、三井住友、JCBの4カード)です。

「奨学金の充実」がカード発行の目的。利用額に応じてカード会社から大学へ支払われる還元金を、奨学金の充実に役立てられる特徴があります。(カード利用による個人のポイントは通常通りとなります)。

奨学金による学生支援をさらに拡充し、多くの意欲と能力のある学生を育成・支援する事業です。

2万人の方が月2万円をご利用いただく仮定すると、10万円の奨学金

を約1500人の学生へ給付できます。

他大学と比べても、卒業生会員数が伸び悩んでいるのが現状です。後輩のため、一人でも多くの皆さまにお持ちいただきませうお願いします。

ほかに、エクステンション・カレッジ講座の特別料金受講、全国協力店の優待、東京六大学野球観戦チケットプレゼント(抽選)など独自サービスも受けられます。

【お問い合わせ】オレンジネット校友課 TEL 03(3264)4924



法政フェア

「地域の方々の」 伝統芸能を鑑賞する集い

第6回法政大学「地域の方々の」伝統芸能を鑑賞する集いが11月15日、市ヶ谷キャンパス外濠校舎6階薩摩ホールで開催された。千代田区や新宿区の地域の方々と密接な連携をとり毎年開催



義太夫の竹本駒之助さん(左)と鶴澤津賀寿さん

今回は「江戸の華話芸と音曲」と題して、江戸時代にはどの町内にもあつたといわれる寄席の「華」である話芸と音曲に着目。芸の「華」を今咲き誇っている講談・俗曲・落語・義太夫の各分野の女流が演じる趣向で行われた。



百花繚乱の女流の皆さん

続く義太夫では人間国宝の竹本駒之助さんと鶴澤津賀寿さんによる「野崎村の段」が披露された。場面ごとの情景や雰囲気、登場するさまざまな人物の言葉や喜怒哀楽の心情が絶妙に表現され観客を魅了した。

活躍する体育会

10月初旬に石川県で開催された第59回全日本学生バドミントン選手権(インカレ)で、男子バドミントン部が13年ぶりの優勝を飾った。決勝ではライバルの日本文学部を3対1で下した。個人シングルスで藤田真生選手、堀川善生選手(ともに経済学部4年)、小松崎祐也選手(同3年)の3人がベスト8に勝ち残った。堀川・藤田組はダブルスでもベスト8に入った。

11月に京都府で行われた第48回全日本大学対抗選手権大会ならびに第58回全日本学生個人選手権大会でフェンシング部男子がフルレール団体、サークルで団体優勝、個人でも見事選手が栄冠

北京五輪競泳4x200mリレーの日本代表メンバーに内田翔選手(人間環境学部3年)が第2泳者として参加。決勝で7分10秒31のタイムで7位入賞を果たした。同予選では7分9秒12の日本記録を出している。

多摩キャンパス内のラグビー場の人工芝敷設工事がこのほど竣工、緑のグリーンの芝が敷設された。ゴールポストは取り外し可能で授業など多目的に使用できる。

今回の工事では約1万500平方メートルの敷地に透水性の人工芝および雨水排水設備を敷設した。ゴールポストは取り外し可能で授業など多目的に使用できる。

今年12月、08年11月(07年12月)の国内主要大会で優勝(ボクシング部)をおおいた団体ボクシング男子成年/バンタム級(丸亀光(法学部1年)全日本アマチュア選手権/バンタム級)丸亀光(法学部3年)

同日に開かれたプロ野球のドラフト会議で、野球部の小松剛投手(文学部4年)が広島東洋カープから3巡目で指名された。小松投手は、高知県立戸高高校出身。「小さいころからの夢だったので、指名を受けうれしく思います」と小松選手。多くの本学出身者が活躍が期待される。

「第9回環境展」を開催

10月20日から24日にかけて、市ヶ谷キャンパスの外濠校舎1階メディアラウンジなどを会場に「第9回環境展」が開催された。



メディアラウンジの展示風景

今回は、学内の会場で行う電力のすべてにグリーン電力(東京都・小水力)を使用した。また、企画内容については、環境教育・研究、エネルギー、温暖化、資源・リサイクル、グリーン購入といった従来から加えて、国内において注目されている「生物多様性」について特別展示を企画した。さらに環境をテーマにした巨大な芸術作品(縦2m37cm、横3m)も出展された。

23日には、(株)セブン&アイ・ホールディングス総務部環境推進担当シニアオフィサーの山口秀和氏に「セブン・イレブンの環境に対する取り組み」をテーマに講演いただいた。



山口氏の講演会の様子

生物多様性ブースと巨大環境芸術作品

本学では、グリーン・ユニバーシティを目指して今後も教育・研究活動を推進していく。学内の環境意識のよりいっそうの高まりが期待される。

「グリーン電力」環境に配慮した電力の概念。使用者が購入した証書代金が再生可能エネルギー普及に役立てられる。

体育・スポーツ研究センターの活動

公開講座などで地域住民の健康増進に貢献

7月にテニス講座、10月にバドミントン講座、11月に野球教室(少年チーム対象)を開催した。このほか町田市と連携し、「テニス」(全8回)、「バドミントン」(同「世界のダンス」(全5回)の各教室を開催。また、八王子市の「こども体験塾」事業の一環として10月に親子テニス教室、12月にサッカー教室(親子・チーム別に実施)を開催した。

これらを受講者は小学1年生から最高69歳までの幅広い年齢層で、総数は700人を超えた。

10月30日に開かれたプロ野球のドラフト会議で、野球部の小松剛投手(文学部4年)が広島東洋カープから3巡目で指名された。小松投手は、高知県立戸高高校出身。「小さいころからの夢だったので、指名を受けうれしく思います」と小松選手。多くの本学出身者が活躍が期待される。



親子テニス教室での神和住所長のコーチング

これらの受講者は小学1年生から最高69歳までの幅広い年齢層で、総数は700人を超えた。



越部社会学部准教授によるダンス教室

「想像力豊かな人間の育成も心身の健全さがあるところ。生涯スポーツ促進のみならず組織強化や施設充実にもいっそう力を入れていきたい」と神和住所長は強調した。

「国内主要大会で優勝(ボクシング部)をおおいた団体ボクシング男子成年/バンタム級(丸亀光(法学部1年)全日本アマチュア選手権/バンタム級)丸亀光(法学部3年)

同日に開かれたプロ野球のドラフト会議で、野球部の小松剛投手(文学部4年)が広島東洋カープから3巡目で指名された。小松投手は、高知県立戸高高校出身。「小さいころからの夢だったので、指名を受けうれしく思います」と小松選手。多くの本学出身者が活躍が期待される。

「躍進する体育会に今年も温かいご声援をお願いします！」



ラグビー場に人工芝敷設

今回の工事では約1万500平方メートルの敷地に透水性の人工芝および雨水排水設備を敷設した。ゴールポストは取り外し可能で授業など多目的に使用できる。

同日に開かれたプロ野球のドラフト会議で、野球部の小松剛投手(文学部4年)が広島東洋カープから3巡目で指名された。小松投手は、高知県立戸高高校出身。「小さいころからの夢だったので、指名を受けうれしく思います」と小松選手。多くの本学出身者が活躍が期待される。

同日に開かれたプロ野球のドラフト会議で、野球部の小松剛投手(文学部4年)が広島東洋カープから3巡目で指名された。小松投手は、高知県立戸高高校出身。「小さいころからの夢だったので、指名を受けうれしく思います」と小松選手。多くの本学出身者が活躍が期待される。